

報道発表資料

相談解決のためのテストから No. 96

平成 28 年 3 月 17 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

商品名に Waterproof とあるが、水が浸入したスマートフォンのケース

1. 依頼内容

「Waterproof を謳^{うた}ったスマートフォンのケースをプールで使用していたところ、水が浸入しスマートフォンが故障した。水が浸入した原因を調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

当該品は、商品名に「Waterproof」（防水）という言葉を含んだスマートフォン用のケースで、長手方向（縦）に 2 重のファスナーがある商品でした（写真 1）。

相談者は、当該品の 2 重ファスナーを閉めて首にかけ、下の部分が水に浸かった瞬間、水がケース内に浸入し、スマートフォンに水が付いたとのことでした。

外観を調査したところ、ケース本体にピンホールなどの穴や接合部の破れなど、水が浸入するような損傷箇所は見られず、開閉部の 2 重のファスナーにも損傷は見られませんでした。外側のファスナーを閉めると、スライダーと接合部の間に隙間が見られました（写真 2）。

写真 1. 当該品の外観

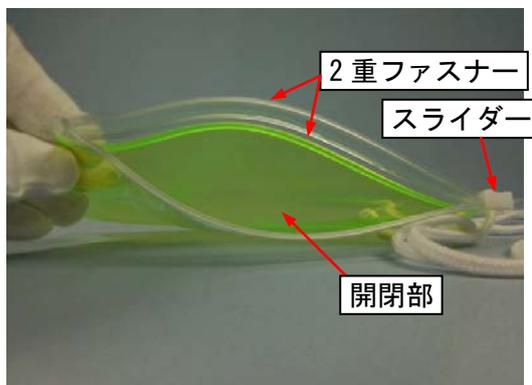
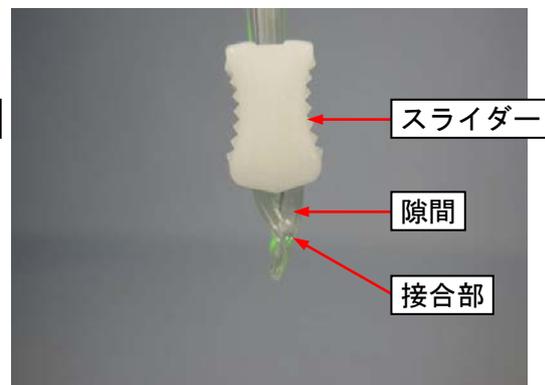


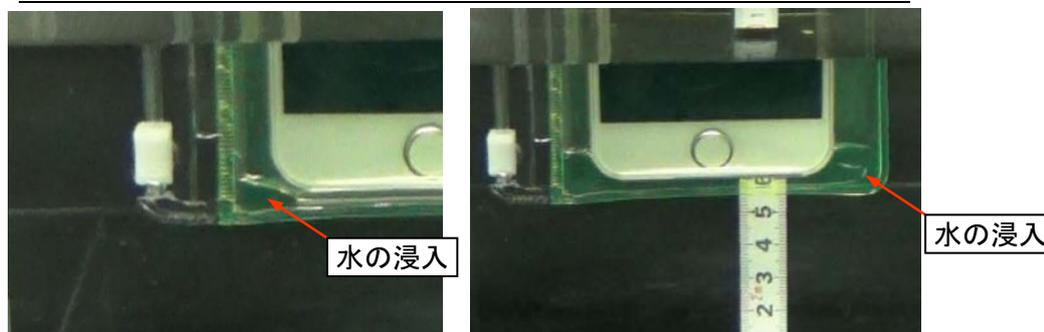
写真 2. ファスナーの隙間



相談者からの申し出に沿って、ケース本体の開閉部を開けてスマートフォンの模型を入れてからファスナーを閉め、開閉部を端から端までなでるように 3 往復なぞって開閉部を密着させた後に、水の張った水槽にケース本体の下半分を水没させて、水が内部へ浸入するの

を確認しました。その結果、当該品と同型品（3個）の全てで、水が内部へ浸入しました（写真3）。

写真3. 当該品に水が浸入する様子（左：水没4秒後、右：水没15秒後）



また、防水に関する注意表示を調べたところ、「本製品は、完全防水ではございません」、「二重構造のダブルファスナーをしっかりと閉めたことを確認して使用ください」、「サイドのダブルファスナーをきっちり閉めると防滴効果を発揮します」との表示がありました。しかし、ケース本体を水に沈めた場合の浸水に対する注意表示はありませんでした。

以上、当該品は水没した場合にファスナーと接合部の隙間から内部へ水が浸入する構造でした。また、完全防水でない旨は表示されていたものの、水没した場合に水が内部へ浸入する旨の注意表示が見られないことから、消費者の防水性能に関する誤認を防ぐために注意表示や商品名の改善が望まれました。

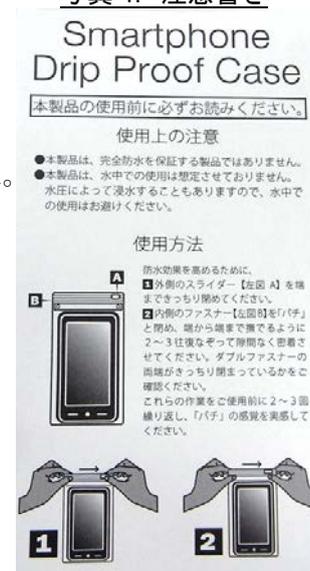
3. 解決内容等

事業者はインターネット上の表示を「防水」から「防滴」に変更しました。また、現在の商品は商品テストを基に改良し、

- ①ファスナー位置をサイドから上部へ変更
- ②水中での使用を避けて頂く為、浸水に対する注意喚起
- ③完全防水を保証する製品ではないこと

を写真4のように明記した注意書きを入れているとの回答がありました。

写真4. 注意書き



本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165